

## 現状把握のための調査について

## 1. 調査予定期日

7月下旬から9月下旬

## 2. 調査方法

2～3のグループに分かれて、講座を開設している企業や市町村公民館、地域と連携した取り組みを行っている団体などに、現地にて聴き取り調査を行う。

## 3. スケジュール

日 程	主な内容	備 考
～ 6月22日(木)	・現地調査先決定	
～ 6月29日(木)	・現地調査先へ調査可能日の照会	
～ 7月 7日(金)	・現地調査先希望調査	・各委員1回程度
～ 7月14日(金)	・現地調査先とグループ編成決定 ・調査先への依頼と委員あて通知	
7月下旬～9月下旬	・現地調査実施	
～10月末	・現地調査結果のまとめ作成	・まとめ用フォーマットの送付 ・各委員のまとめを事務局で取りまとめて会議資料を作成
11月 第3回会議	・現地調査結果の発表	・各調査グループの代表から調査概要の発表

## 4. 調査対象（案）

- ・タピオ館立オープン大学

仙台市泉区のタピオ内のオープンスペースで、『誰でも先生，誰でも生徒 自分の持つ「知」をみんなで分かちコミュニティ』をコンセプトに講座を開設している。

- ・成田中学校ささえ隊 増田 恵美子 氏

富谷市成田地区で、地域コミュニティの活性化に向けて様々な活動を行っている。「地域と学校が連携した防災活動」を行うことが、地域防災力を高めると同時に地域コミュニティの醸成につながると継続的に実践している。

## 5. 調査内容（案）

- ・実施している講座の内容
- ・講師の選定方法
- ・受講生の受講後の活用方法
- ・地域と学校が連携するに当たっての課題
- ・地域をつなぐコーディネーターの育成・役割
- ・生涯学習プラットフォーム構築に向けての可能性